

地盤調査規格・基準委員会

平成26年度第2回 議事録

日時	平成26年12月10日 (水) 14:00~17:00			場所	地盤工学会 会議室			
委員長	利藤 房男	○	幹事(岩)	長田 昌彦	×	幹事(土)	浜田 英治	○
委員	栗津 誠一	○	WG1委員	窪田 健二	○	WG2委員	辻野 敏文	○
WG2委員	中野 義仁	○	WG3委員	竹内 真司	○	WG3委員	小松 満	○
WG4委員	平林 弘	○	WG5委員	小早川 博亮	×	WG5委員	百瀬 忍	×
WG6委員	藤田 智弘	○	WG7委員	浅井 健一	×	WG7委員	藤崎 勝利	×
WG8委員	伊藤 圭二郎	○	WG9委員	長田 昌彦:兼務	×	WG10委員	杉井 俊夫	
WG10委員	細谷 真一		WG11委員	平林 弘:兼務	○	WG12		
WG13(幹事)	横山 幸也		WG14委員	竹内 真司:兼務	○			

○：出席 ◎：代理出席 ×：欠席 △：未定

配布資料

委員会名	資料	資料の有無・番号
地盤調査規格・基準委員会	・前回議事録 (H26-8-12)	・資料26-2-1
基準部会	・第2回(H26-7-8), 第3回(H26-9-2)議事録	・資料26-2-2
基準部会	・H27年度の事業計画と予算	・資料26-2-3
英訳実行委員会	・英訳に関するガイドラインと英訳基準リスト	・資料26-2-4(1) ・資料26-2-4(2)
ワーキング3	・活動報告「議事録」	・資料26-2-5(1)
ワーキング3	・審議資料(当日配布)	・資料26-2-5(2)
ワーキング10	・活動報告「議事録」	・資料26-2-6
ワーキング10	・「地下水面より上の地盤を対象とした透水試験方法」の基準素案	・資料26-2-7
会員からの質問	・今年度8月以降の会員からの質問と回答	・資料26-2-8
JIS表記委員会	・地盤工学用語の修正案と質問	・資料26-2-9

審議事項

- (1) 英訳に関するガイドラインと英訳基準リスト (資料26-2-4(1)、資料26-2-4(2))
 - ・浜田幹事より、英訳に関するガイドラインと英訳基準リストについて、説明がなされた。
 - ・「地盤工学会基準の英訳に関するガイドライン(案)」については異議なし。
 - ・「英訳の査読に関するガイドライン」の「2. 基本的留意事項」の表現が分かりにくい、との意見が出された。

→12/16の英訳実行委員会での報告事項
- (2) 「透水特性の試験法で用いる理論式の誘導整理」について (資料26-2-5(2))
 - ・竹内委員より、「青本 第7編 地下水調査」における各理論式に関する課題とWG3活動の位置づけについて説明がなされた。
 - ・特に異議はなく、この内容通り進めて頂くことで全員一致した。

→1/20の基準部会での報告事項

- (3) 「地下水面より上の地盤を対象とした透水試験方法」の基準素案について(資料26-2-7)
- ・WG10小松委員より説明があり、以下の意見が出された
 - 「使用する」と「用いる」が混在しているので、統一したらどうか。
 - 「3.2現場飽和状態」の定義が分かりにくいので、表現の工夫が必要。
 - 「地表面で実施する場合」と「試験孔で実施する場合」の2通りの方法があるので、分かりやすい構成にした方がよい。
 - 6a)「浸潤を開始する」の表現は妥当か。
 - 2.5.1e)の「注記」の最初の文章は、「注記」の外に出した方がいいのではないか。
 - 「4.試験用具」は寸法等についてもっと具体的に記載した方がよい。
 - 5.2.1b)と5.2.3b)の文章を同一にする。
 - 6b)の「注記1」と「注記2」の、「～してもよい」の表現は、注記として適切かどうか確認。
 - 6d)の「もしくは」は、「又は」の方が適切。
 - 6e)5)「確実に機能(止水)していたか否かについて確認する。」は、確認方法についての記載が必要。
 - 付属書Aに出てくる図については、図例を示した方がよい。
 - 付属書Aに出てくるパラメータは、数値が分かる図表を示す必要がある。
 - 付属書AのA.4の数式やフォントを修正。
 - 付属書A.5のp.8/11の下から2行目、試験区間の長さの単位(m)を追加。
 - 付属書Bの各図中の寸法を記載。
 - 付属書Bの図B.3の「水圧計」と「水圧センサー」の名称統一、詳細図が未完成。
- 1/20の基準部会での報告事項

- (4) 地盤工学用語の修正案と質問(資料26-2-9)
- ・表記法委員会の修正案に各担当WGからのコメントを付し、同委員会に戻すこととした。
 - ・幹事(浜田)が、表記委員会修正案のオリジナルファイルを配信する。
- 1/20の基準部会での報告事項

報告事項

- (1) 前回議事録確認(メール審議で承認済み:資料26-2-1)
 - ・特になし
- (2) 第2回(H26-7-8),第3回(H26-9-2)の基準部会議事録(メール配信にて報告済み:資料26-2-2)
 - ・特になし
- (3) H27年度の事業計画と予算(資料26-2-3)
 - ・特になし
- (4) ワーキング3活動報告(資料26-2-5(1))
 - ・竹内委員よりWG3の議事録に基づいて、活動報告がなされた。
 - ・「単孔を利用した地下水流向流速測定方法」については、理事会での審議状況を確認する。
 - ・基準番号は、規程通り設定して頂く。制定年は、理事会での承認日となる。小冊子については、単独でも発行可能であるが、英文が必要である。
 - ・透水係数の精度について、国際規格・基準との精査が必要なので、ASTMを事務局から提供して頂くことにした。→事務局に依頼済(12/10)
 - ・小松委員より、JGS四国支部で「地下水調査の方法と解説」の講習会が盛況に行われた、との報告がなされた。
- (5) ワーキング10活動報告(資料26-2-6)
 - ・小松委員よりWG10の議事録に基づいて、活動報告がなされた。
 - ・特になし
- (6) 会員からの質問と回答(資料26-2-8)
 - ・WG4平林委員より、標準貫入試験方法に関する会員からの質問への回答について、説明があった。
 - ・特になし
- (7) 次回の委員会日程
 - ・H26年度第3回委員会は、2/23(月)14:00~開催予定とする。